

# 小児救急対応ガイド

こちらの面の応急手当は  
**窒息、やけど、出血時**の方法をお伝えします。

↓そのほかのお役立ち情報↓

急な病気やけがで  
救急車を呼ぶか迷ったら…



電話から

シャープ # 7 1 1 9

または 045-232-7119 年中無休 24時間対応

1 救急受診できる病院・診療所を知りたい 番号を選択

2 今すぐに受診すべきか救急車を呼ぶべきか 番号を選択

休日診療所・夜間急病センター

施設一覧



横浜市HP  
医療局

たばこ、洗剤、化粧品などの  
誤飲事故が起こったとき

大阪中毒110番 (24時間対応)

☎072-727-2499

つくば中毒110番 (9時から 21時対応)

☎029-852-9999

公益財団法人日本中毒情報センター

医療の視点 横浜市医療局  
YOKOHAMA

## 出血時の対応

- ☆傷口が広く長い場合は病院を受診しましょう。
- ☆吹き出すような出血は救急車を呼びましょう。

- ・傷口に清潔なガーゼやきれいなタオルなどをあててしっかりとおさえて圧迫します。(3-5分)
- ・頭の傷は出血量が多くなることがありますが、慌てずしっかりおさえて圧迫しましょう。

## やけどの対応

- ☆やけどをしたら流水で冷やしましょう。
- ☆やけどの範囲が広い場合はすぐに救急車を呼びましょう。

- ・流水で冷やしましょう。氷や氷水で冷やす必要はありません
- ・水ぶくれ(水泡)は破らないようにしましょう。
- ・医師の判断以外で軟膏などは塗らないようにしましょう。



## 窒息の対応

のどに物が詰まった！唇が紫色！呼吸ができないときは！  
呼吸をしていないときや顔色がおかしい場合は救急車を呼びましょう

### 背部叩打法

- ・乳児を片方の腕にうつ伏せに乗せます。
- ・手のひらで顔(あご)を支え、頭がやや低くなる姿勢にします。
- ・背中の中を力強く、連続してたたきます。



空いている方の  
手のひらの付け根で、  
力強く連続して叩く！

### 胸部突き上げ法

- ・乳児を片方の腕に仰向けに乗せて、手のひらで後頭部をしっかりと支えます。
- ・頭部が低くなる状態で、もう一方の手の指二本で、**胸の真ん中にある骨(胸骨)の下半分**を、**力強く数回連続して圧迫**します。



## 窒息の対応

### 腹部突き上げ法 ハイムリック法

1歳以上

- ・後ろから抱えるように腕を回します。
- ・片手で握りこぶしを作り、その親指側を子どもの**みぞおち**の下に当てます。
- ・もう片方の手で握りこぶしを握り、すばやく**手前上方**に向かって両手で圧迫するように突き上げます。

## 実演動画

窒息の対応方法等が  
わかりやすい動画を  
紹介します。

視聴はこちらから→



東京消防庁youtubeチャンネル  
横浜市のHPではありません

### 小児の応急手当再生リスト

- 1.乳児：胸部突き上げ法
- 2.乳児：背部叩打法
- 3.窒息の応急手当
- 4.成人・小児：背部叩打法
- 5.成人・小児：腹部突き上げ法
- 6.心配蘇生
- 7.小児の心配蘇生(AED含む)
- 8.人工呼吸

こちらの面の心急手当は  
**熱性けいれん、発熱時**の方法をお伝えします。

↓**そのほかのお役立ち情報**↓

急な病気やけがで  
救急車を呼ぶか迷ったら…

夜間や休日などに  
病院を受診するかどうか、  
判断に役立つ情報はこちら



電話から  
または 045-232-7119 年中無休 24時間対応  
救急受診できる病院・診療所を知りたい 1  
今すぐを受診すべきか救急車を呼ぶべきか 2  
番を選択 番を選択

ONLINE QQ  
こどもの救急



公益社団法人日本小児科学会

ご家庭に事故のリスクが無いか確認できるページはこちら

こどもの  
事故予防



横浜市HP  
こども青少年局

医療の視点 横浜市医療局  
YOKOHAMA

## 熱性けいれんの対応

### 熱性けいれんとは

- ・発熱で起こるけいれんで1～4歳くらいに多く見られます。
- ・5分程度で自然とおさまり後遺症はないとされていますので慌てずに落ち着いて対応しましょう。



### 熱性けいれんの注意点

- ☆ **大声で名前を呼ばない!**
- ☆ **身体をゆすらない!**

刺激となり、けいれんが長引く場合があります。

- ☆ **口の中に物を入れない!**

熱性けいれんで舌を噛むことはほとんどありません。噛む力はかなり強いので物や指を入れることは危険です。

## 発熱時の対応

熱が出たら**水分補給・冷却・早めの受診**をしましょう。

### 体温が上がりきったとき



手足が熱いとき・  
顔が火照って赤く  
なっているとき



薄着にしたり、  
頭を冷やしたりして  
熱を発散させましょう。

### 体を冷やすとき

**わきや足の付け根**を冷やしましょう。  
顔や肩は冷やしてはいけません。



動いてしまう場合は腕に氷枕を乗せて抱っこしましょう。  
水分補給も忘れずに!! (乳児用イオン飲料など)



## 熱性けいれんの対応

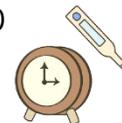
**10分以上けいれんが続くときは、救急車を呼びましょう。**

- ① 慌てず、安全で平らな場所に仰向けに寝かせましょう。
- ③ けいれんの状態を確認しましょう。

☆吐きそうな場合は、吐いたものがのどに詰まらないように**顔と体を横に向かせましょう。**



- ② けいれんが始まった時間を確認しましょう。衣類をゆるめて熱を測りましょう。



☆腕や足がガクガクしているのか、ギューツとしているかなど**身体の動きに注意!**

- ④ けいれんが長い場合(5分以上)や繰り返すときは病院を受診しましょう。